

子育てママの支援室

in USA

～ガンバ! アメリカでこどもを育てるママたち!～



当コーナーのアドバイザー



(左から順に)

八巻 希 先生 小池 ふみ 先生
星マタイルーテル日本語幼稚園
田所 洋子 先生 《わくわく広場》

「はい どうぞ」

たくさんのお花があちこちに咲いているこの季節。かわい
いお花を見つけては「はい、どうぞ」とお母さんにプレゼ
ントをしてくれる子供たち。きっと、お母さんも「わーきれい
なお花。ありがとう」と言ってお花をいつも受け取っているの
ではないでしょうか。

でも、茎はなく花の所だけ取ってきたものや、つぼみの先っ
ぽだけだったり、一見ごみのようなものだと、「ありがとう。
うれしいな」なんて言いながら、受け取るだけ受け取り、その
辺りに置いておき、子供が忘れたころに、そのしおれた植物を
捨ててしまうことの方が多くでしょう。

でもこの前のクラスの時に、何気なく、子供からもらった菜
の花の先を水につけてみました。すると、次の日、なんと花が
咲いたのです。もらった時からしおれていて、どう見ても花が
咲くようなものではなかったのに、水につけただけでどんど
ん元気になり、花まで咲かせました。

花が咲いたことを知らせてあげると、お花を持ってきてくれ
た子は大喜び。次の週のクラスでは、クラスみんなが「この
前の〇〇ちゃんのお花咲いたんだって」と花の画像を見ながら
大盛り上がり。「なんていうお花かな」「こんなにたくさんつぼみ
だったんだね」「調べてみようよ」など子供がもってきた植物の
先っぽからこんなに話題が広がるんだなと改めて思いました。

今まで、そっと捨てていた子供たちからのプレゼント。その
日以来、もらったお花や葉っぱ類は全部お水につけています。
大人が大切な人に花束をプレゼントするように、子供たちも大
好きな人に見つけたお花をプレゼントしています。大人からみ
ると5分後にはしおれてごみになってしまう植物も、大人の対
応次第でとってもすてきな部屋のインテリアになります。

お子さんに「ママ はい どうぞ」と植物をプレゼントされ
たら、ぜひ小さな入れ物に水を入れてそこにそのプレゼントを
入れてみてください。きっと親子で今まで気が付かなかった発
見があると思います。

